

まちかど通信

皆さんの情報をお待ちしています。
電話やハガキでどしどしお寄せください。
連絡先 本庁舎・広報課
〒120 千住 1-4-18
☎3882-1111代



ちびっ子太公望 腕競う

元淵江公園



よく晴れた3月24日の日曜、第13回を迎える少年釣り大会が元淵江公園内、鍛えた魚つりの腕を競い合っていました。

大会に参加したのは、区内在住の小学3年生から中学3年生までの15人。

ちびっ子たちは、朝6時30分ごろから自転車を会場に集まりはじめる。9時から競技開始。その正午過ぎの納竿。競技方法は、小学生、中学生別に釣り上げた匹数で競うもので、みごと優勝してました。

この日は風もなく絶好の釣り日和。9時の釣りはじめの宙の合図で一斉に釣り糸を垂らし、それぞれ自分たちで工夫を凝らした仕掛けや餌(えさ)を使い、優勝を争い一生けんめい、優勝を争っていました。

そばで見ていた大人たちも「おつ、引いてる」「だめだ、そんな強く引いちや」と、自然に手力が入り外野も大さわぎ。

時間がたつにつれ、あちこちで、大きなコイ、マブナ、平アナが面白いように釣れ始め、入れ食いの状態になりました。

足立四丁目在住の学5年生の茶谷晴春さん(足立四丁目在住)と、55匹釣り上げた中学1年生の緑川剛さん(東六月町在住)の2人でした。

2人には賞状とトロフィーが贈られ、他の参加者は記念品を受けとり、大喜びで家路につききました。

たのは、66匹釣り上げた小学5年生の茶谷晴春さん(足立四丁目在住)と、55匹釣り上げた中学1年生の緑川剛さん(東六月町在住)の2人でした。

●元淵江公園

少年野球のために 20年にわたって広場を提供

伊興二丁目の伊興と郎さん(92歳)が地域の子どもたちのために、20年間にわたって提供している。ここでリーグ戦を行う少年野球25チーム、約500人が3月31日、開会式のため西伊興小に元気に集合しました。

この日、父母や子供たちが山崎さんを招待し、感謝の意もついでに「お元気で」と記念品を贈る。



この日、父母や子供たちが山崎さんを招待し、感謝の意もついでに「お元気で」と記念品を贈る。

老人会館でお座敷コンサート

十四中マンドリン部

3月23日、老人会館で第十四中のマンドリン部員13人がお座敷コンサートを開催し、おとよりに生演奏をプレゼントしました。

演奏曲は「荒城の月」浜

地域清掃で恩返し 鹿浜中学校

「自分たちの生活環境をきれいに、静かに。」

3月16日、鹿浜中学校の3年生176人が学校周辺の清掃を行いました。

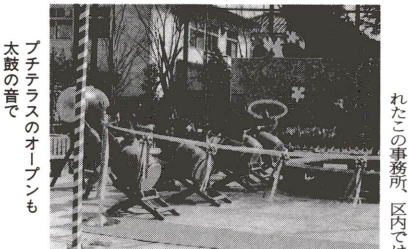
地域や父母の方ともいっしょに掃除をして、地域への恩返しです。生徒たちは空き缶やゴミ、すそを拾い集



きれいな生活環境は身近な地域から

地元に着密

2つの施設がオープン



3月17日、快晴の空に響く太鼓の音が始った「第15地区まちづくり推進事務所」の開設式。

旧第8出張所跡地に、地元の人々のまじり活動の拠点とするため建てられたこの事務所、区内ではこのマンドリン部、第1回足立区野外彫刻コンクールの入選作が設置されています。「流れる雲」という名の母像で、作者は与野市高まる地元の皆さんです。

軽快な音楽に合わせ、かわいい子供たちが踊りまわりました。森を破壊から守るをテーマにした環境問題を子供たちが身体いっぱい表現された1日でした。

「ふれあいの一日」の施設を使っています。今回は保育園や児童館の子供たちもいっしょで楽しい日になりました。この日、原二丁目の佐藤純子さんのように、皆さんが活躍し、カラオケ、手品など、日々の練習の成果が披露された1日でした。

中部児童館老人館 プチテラス

関原地区に続く番目の像には、いつまでもの豊かさをもち続けて欲しい願いが込められています。また、興本区民事務所の駐車場わきにも一体。地球・ともだちをテーマにしたもので、作者は古谷在住の中村茂幸さんです。

4月発行の「あだち広報」でくわしくお伝えする予定の水バス(運航は都・水辺公社が実施)は、都合により運航日が遅れることになりました。

水上バスの運航が遅れることになりました

4月発行の「あだち広報」でくわしくお伝えする予定の水バス(運航は都・水辺公社が実施)は、都合により運航日が遅れることになりました。

喜びも、悲しみも... 新たな希望を胸に閉校式

さようなら千寿第一小・千寿旭小



春の小雨が降る3月25日、千寿第一小学校と千寿旭小学校で、両校の統廃合にもなる閉校式が行われ、その長い歴史の幕を閉じました。

両校は、これまでに多くの卒業生を送り出してきましたが、近年、児童数が大幅に減少。昭和40年ころは、千寿第一小が180人、千寿旭小が120人、合計300人ほどが通っていました。千寿第一小も閉校前に28人に、千寿旭小も昭和40年代には、40人近くの長い歴史の幕を閉じました。

この日の閉校式を迎えたいです。

父母のほかに、歴代の校長、PTA会長、旧職員の方々も出席。在校生による校歌の斉唱や校旗の返還などが行われました。

「寂しさもありますが、子供たちには新しい学校で、今以上に希望を持って頑張ってもらいたいと思います」と先生方。

両校の在校生は、4月から新設の千寿本町小学校として、現在の千寿小の校舎で学んだあと、平成5年春に千寿第一小跡地に建設予定の新校舎に移ることになっています。

閉校式には学校関係のOBも多勢出席